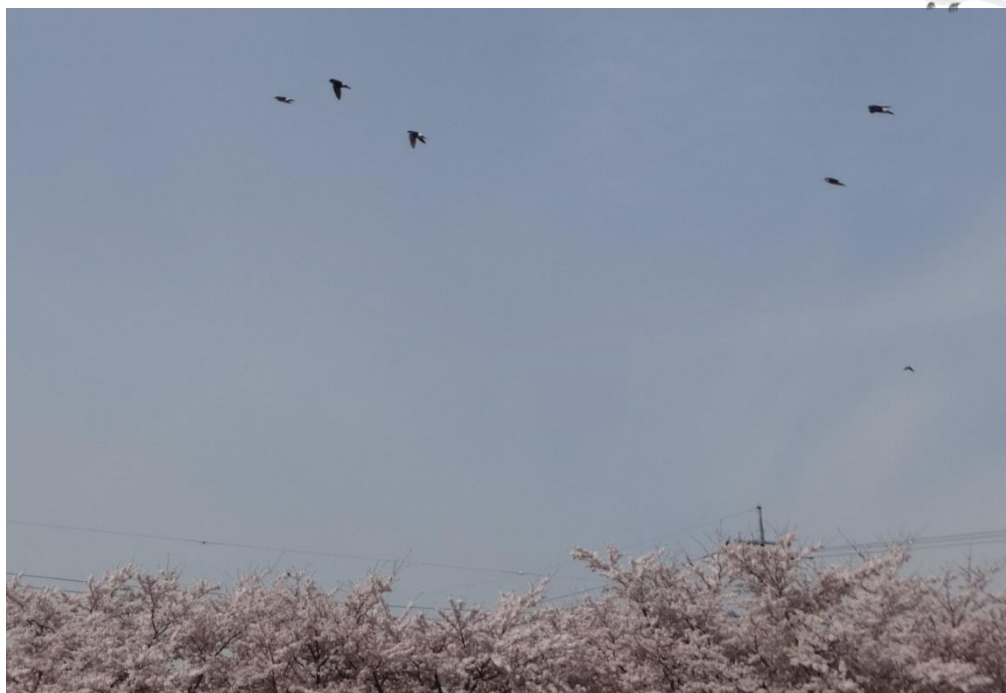


2017年 市民自然環境調査

# みづかな季節かんじ隊

## 調査結果報告書（ツバメ）



細ヶ沢川橋（関根町）

### 目 次

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 調査の目的      | 6 フォト・ギャラリー |
| 2 調査の内容      | 7 参加者の声     |
| 3 調査の結果      | 8 参考資料      |
| 4 調査データ      | 9 事務局より     |
| 5 市民自然環境調査地点 |             |

平成29年8月  
前橋市  
環境部環境政策課

## 1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために市民自然環境調査を実施しました。次世代を担う子ども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を呼びかけ、身近な生物を通じて自然に触れ、親しみ、季節を感じ、前橋市域の自然環境を知ることによって環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にツバメの調査を実施しました。

## 2 調査の内容

調査の対象は、対象地域が市内各所にあること、私たちが身近な自然として感じられることを考慮し、「ツバメ（ツバメ・イワツバメ）」としました。

### （1）調査の方法

- ①調査に参加する方を募集しました。（調査に参加した方を「隊員」といいます。）
- ②隊員は、調査する場所を決め、期間内に調査を行いました。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出いただきました。

### （2）調査の概要

| テーマ    | 指標生物      | 調査内容     | 調査期間               |
|--------|-----------|----------|--------------------|
| ツバメの調査 | ツバメ、イワツバメ | 巣及び生態の確認 | 3月(調査開始日)～7月30日(日) |

## 3 調査の結果

### ツバメ

- ・調査隊員数：9名
- ・調査地点数：11地点
- ・確認種類：ツバメ（10地点）、イワツバメ（1地点）
- ・前橋気象台の初見日：4/17



### 〈参考〉前橋地方気象台の観測データ（ツバメ）

| 観測  | H25  | H26  | H27  | H28  | H29  |
|-----|------|------|------|------|------|
| 初見日 | 3/19 | 4/11 | 4/10 | 4/13 | 4/17 |
| 平年差 | -12  | +11  | +10  | +13  | +17  |
| 昨年差 | -21  | +23  | -1   | +3   | +4   |

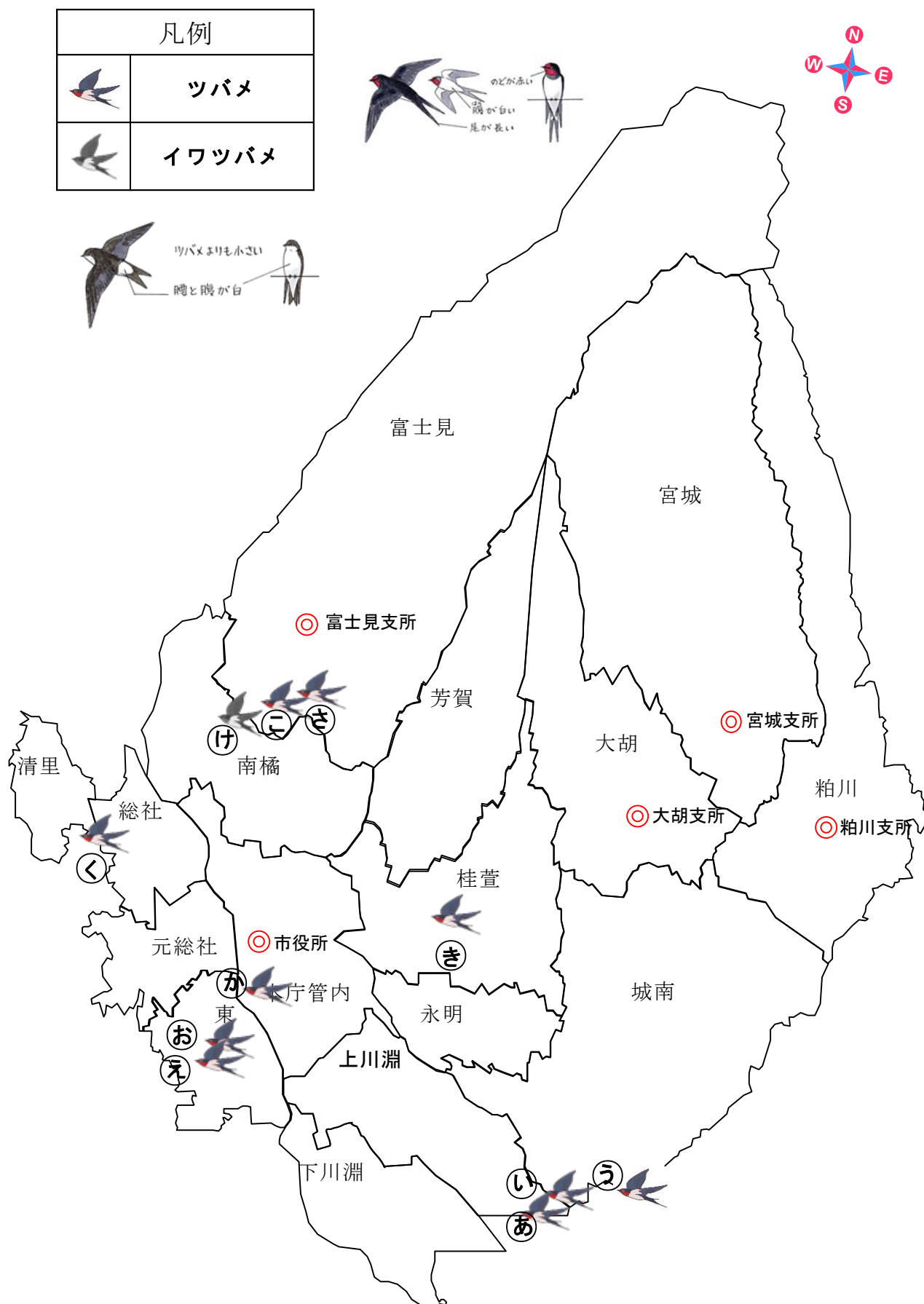
平年差（昨年差）が、正の数の場合「平年（昨年）より遅い日数」、負の数の場合は、「平年（昨年）より早い日数」を示しています。

## 4 調査データ

市民自然環境調査「みぢかな季節かんじ隊（ツバメ）」調査結果

[illegible]

## 5 市民自然環境調査地点

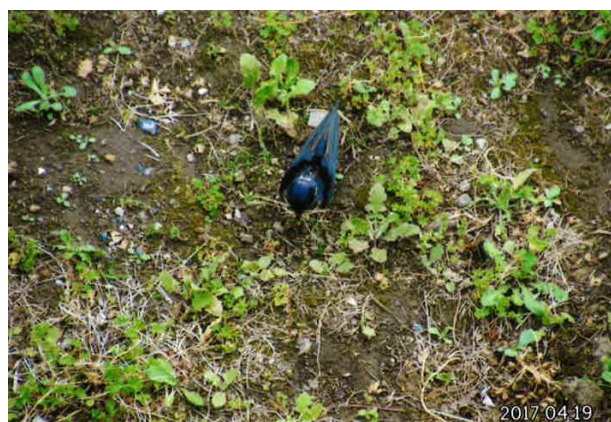


## 6 フォト・ギャラリー

隊員の方から、調査票のほかに写真も提供いただきましたのでご紹介します。



個人宅（紅雲町）



個人宅（紅雲町）



個人宅（上泉町）



個人宅（上新田町）



個人宅（総社町）



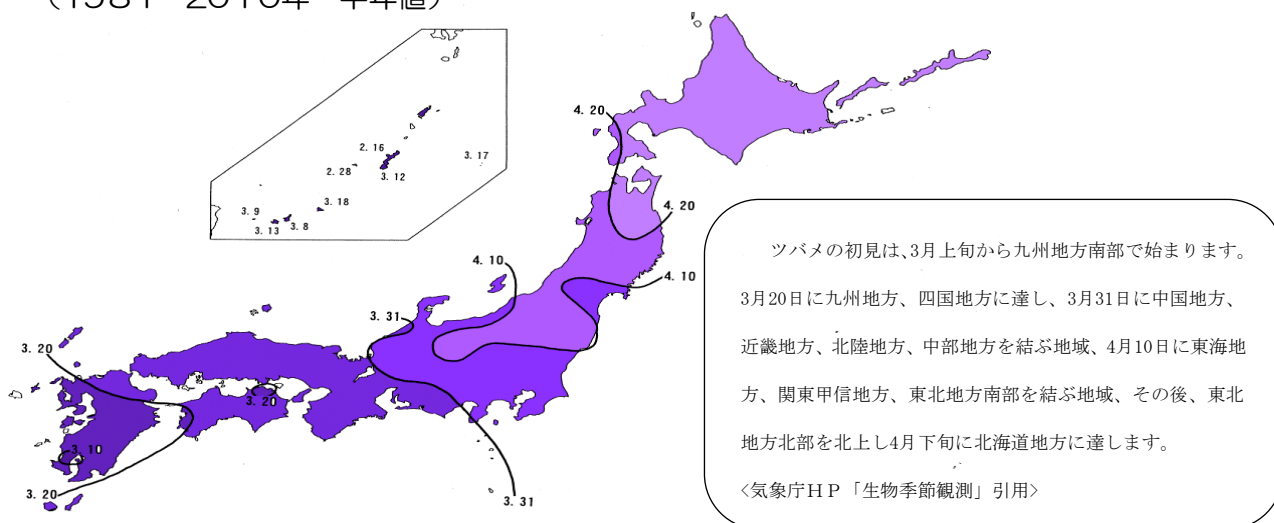
個人宅（総社町）

## 7 参加者の声（抜粋）

- 以前調査した前女校体育館駐車場には、1羽もこないです。  
地上にいるツバメは巣作りの材料を運んでいるところです。
- ここ2、3年カラスの声が煩わしく（特に朝）心配していましたが今年は燕も巣作りを諦めたようです。  
初見日、初鳴きと目の前の電線で鳴いていましたが諦めたようです。  
果たして来年はどうなるのか、このまま巣作りしないとなると非常に残念です。  
心なしか燕の数も少なく思えます。
- 5月中に巣ができたが、スズメ（？）が何か他の鳥に壊された。  
すぐに別のところ（同じ玄関の脇）に新しく作ったが、そこで卵を産んだか不明。  
ただまわりを飛びまわっていた。
- 昨年の巣を修理していたのを確認しました。  
5月20日頃親鳥がいるなと思っていたら、6月18日卵のカラを三個みつけました。  
この日ヒナが生まれたようです。  
3羽～5羽元気に鳴いているのを確認、24日。  
自宅玄関の電球を利用して巣作りしました。
- 5月12日巣作りが始まり2匹で交代で5月25日完成した。  
その後1匹増え3匹となり巣の取り合いみたいになり、せっかく作った巣も破損して（多分3匹の競いだと思う）、どこかへ行ってしまったらしい。  
楽しんでいましたが残念でした。
- 調査期間を通して今年もツバメのすがたが減少しているように感じた。（田、畑、道路、川や公園等に）  
地区内の数人によると例年通り6月中旬巣立ったとのことでした。  
残念な報告でしたが次回（来年）に期待したい。  
ところが7/1～7/10ごろ夕方ツバメの飛来するすがたがたくさんみられた。（電線にとまったり）
- 6/15 二度目の卵を抱いている。巣が深く様子がよく見えなかった。  
7/31 2羽巣立ち 今回2羽のみでした。
- 今年3月に開通した上武道路にかかる細ヶ沢川橋の橋桁で巣作りをしています。  
橋ができた2015年から巣作りがはじまり、今年で3年目になります。  
新たに巣を作っている様子はなく、古い巣を修復して利用しているようです。

## 8 参考資料

### ツバメの初見日の等期日線図 (1981～2010年 平年値)



## 9 事務局より

近年、ツバメの目撃情報が減っている中、隊員の皆様には長期にわたり調査にご協力をいただき誠に有難うございました。

ツバメの巣を見つけられずコメントや初見日のみの報告になってしまった方もいましたが、東京都心では2015年から2年連続ツバメが観測されていないそうです。

その要因とされているのが「都市部のツバメの少子化」だそうです。

日本野鳥の会が13～15年にツバメの子育て情報を調べたところ、郊外や農村部で巣立ったヒナの数では平均約4.29羽でしたが、都市部では約3.89羽だったそうです。

ツバメは古くから商売繁盛の印や害虫から穀物を守ってくれる、など益鳥として歓迎されていましたが、近年はフンが落ちて迷惑だと巣作りを邪魔したり、住宅様式の変化や農耕地の減少、農薬の使用、など人間の影響も大きいようです。

しかし、ツバメは人間のそばを好み巣作りするという習性があり、人間もツバメを見ると「ホッコリ」とするといった人もいるように、ツバメと人間が上手く共存していけたらいいなと思います。

なお、今年の前橋气象台におけるツバメの初見日は平年より17日、昨年より4日遅い4月17日となりました。

今後も「みぢかな季節かんじ隊」の調査へのご協力をお願いするとともに、日々の生活の中におきましても身近な生き物を通じて自然環境に目を向けていただければ幸いです。

みぢかな季節かんじ隊事務局

前橋市環境部環境政策課

〒371-8601

前橋市大手町二丁目12番1

TEL：027-898-6292（直通）

FAX：027-223-8524



# 「前橋市環境都市宣言」

## 前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しむ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

## 前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様に改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として四つ目の宣言文となります。